

# 2026WORLD ROWING UNDER19 CHAMPIONSHIPS REPORT 2 (7/31)

7月31日(金)

午前中は、ホテル周辺で時差調整も兼ねた運動を、午後は大会会場に行き、艇を受け取りセッティング及び水上での確認を行いました。

特に午後は気温も上がり日差しが強い厳しい環境でしたが、他国がほとんど会場入りしていないことも幸いし、木陰を選び艇のセッティングを行うことができました。



午前中のウォームアップの様子。ホテルの裏の日陰で行いました。

非常に強い日差しの中、会場入りする選手・スタッフ。



フィリップ社の方々と共にレンタルボートをトレーラーから降ろします。

チームテントエリアには、もう日本チームのためのテントが用意されており、とても助かりました。



各クルーに分かれセッティング開始です。テントのすぐ脇の木陰で行うことができたので、強い日差しを避け行うことができました。



ローイングコースは、日本代表以外にはニュージーランド代表しかおらず、水面をほぼ独占状態で使用できました。





セッティングが完了したクルーから、順次水上に向かいます。

いよいよ水上へ！

気持ちよさそうに水上に繰り出す  
楫選手(立教大学)。



JW1x 楫選手(立教大学)

JM1x 佐野選手(岡谷南高校)



JM2x クルー(写真左から)S 首田選手(富山国際大学)、B 一瀬選手(若狭高校)

各クルー水上でセッティングの状態を確認致しました。

明日は、ローイングコースでトライアスロンの大会があり、使用できる時間帯が限られる中でのトレーニングになり、急遽予約していたバス時刻の変更がありましたが、柔軟に対応していくことを夕方のミーティングで話し合いました。